

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	駿台観光&ホテルブライダルビジネスカレッジ
設置者名	学校法人 駿河台学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
観光 専門課程	鉄道学科 鉄道コース (2年制)	夜・通信	1,110時間	80×2=160時間	
	鉄道学科 訪日観光ドライバーコース (2年制)	夜・通信	960時間	80×2=160時間	
	ホテル学科 シティホテルコース (2年制)	夜・通信	975時間	80×2=160時間	
	ホテル学科 テーマパーク・リゾートコース (2年制)	夜・通信	1,005時間	80×2=160時間	
	ブライダル学科 トータルブライダルコース (2年制)	夜・通信	960時間	80×2=160時間	
(備考) ※トラベル学科 企業実習(デュアル)コースおよびグローバルコミュニケーションコースは2024年度の入学者はなく、2025年度は募集停止のため現在在籍生はなし。 ※国際観光専科は留学生コースのため支援対象外。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開している。 https://www.sundai-th.ac.jp/feature/document/2025-courses.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	駿台観光&ホテルブライダルビジネスカレッジ
設置者名	学校法人 駿河台学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。 (掲載： https://www.sundai-slec.ac.jp/pdf/bmember.pdf)
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2025.5.26 ～2029年度 の定時評議 員会終結の 時	組織運営体制への チェック機能
非常勤	学校法人役員	2025.5.26 ～2029年度 の定時評議 員会終結の 時	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	駿台観光&ホテルブライダルビジネスカレッジ
設置者名	学校法人 駿河台学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (鉄道学科鉄道コース(2年制)、訪日観光ドライバーコース(2年制)、ホテル学科シティホテルコース(2年制)、ホテル学科テーマパーク・リゾートコース(2年制)、ブライダル学科トータルブライダルコース(2年制)) 【作成について】 各学科の授業科目については、毎年度、各学科の学科長とクラス担任による学内会議により、前年度の授業科目の設定・講義内容・授業時間数についての検討・検証を基に次年度の講義内容を決定し、その内容に基づいて各授業を担当する教員が授業計画(シラバス)の作成を行っている。職業実践専門課程認可学科であるトラベル学科の実践科目においては、教育課程編成委員会にて学校教育方針及びシラバスを検討・検証した結果に基づき作成を行っている。 学内のシラバス作成方法と手引きを基に、授業科目・必要時間数・担当教員名・授業の到達目標及び参考書に関して全科目共通で記載することを必須としており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。 【公表の時期について】 新年度の講義予定(授業計画)は12月から翌年1月に各学科長が作成し、2月の学内会議で承認され、正式決定される。シラバスは学内事務局にて、各学期の開講前までに公開される。	
授業計画書の公表方法	当校の所在地(東京都豊島区巣鴨 1-15-2)学内事務局にて閲覧用授業計画書(シラバス)を常設公開している。 ホームページにて、閲覧用冊子の常設の旨を公開している。 https://www.sundai-th.ac.jp/feature/document/2025-syllabus.pdf

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学生ハンドブック（学生便覧）において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の試験（レポートを含む）、授業中の小テスト、提出物、出席状況、授業態度等の総合評価により成績評価を行っている。 (参考) 進級・卒業 進級は1年次において、各学科所定の必要単位数を取得した者に対して認める。 卒業は本校所定の必要単位を修得し、その課程を修了した者には、卒業を認定し、卒業証書を授与する。 成績の評価基準 成績評価は、各授業の成績評価基準（シラバスに掲載し初回授業時に説明）に基づいて100点方式をもって相対評価を行う。「AA」「A」「B」「C」評定が単位取得したことになり、「F」評定は単位を認定しない。単位の認定は、各科目の授業時間の出席率80%以上を条件とする。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学業成績は、授業科目ごとに設定し、試験（定期試験、実技試験、小テスト、課題、授業態度、出席率等）によって評価される。 成績評価については、シラバスに記載されており100点満点を基準として60点以上を合格としている。 評価点数により 100点～90点 AA 合格 / 89点～80点 A 合格 / 79点～70点 B 合格 69点～60点 C 合格 / 59点～0点 F 不合格として 成績が通知される。 GPAは、(AAの科目数×4+Aの科目数×3+Bの科目数×2+Cの科目数×1)の合計を各科目数で除した数として求めることによって算出する。算出したGPAにより、成績分布表を作成する。 なお、成績評価方法については、入学時のオリエンテーションで学生に伝え、かつ試験期間前に再度、学科指導教員から学生へ連絡している。 本校では、成績評価基準についてはホームページに公表している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.sundai-th.ac.jp/feature/document/evaluation-scheme.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 2025 年度 4 月 1 日より「駿台観光&ホテルブライダルビジネスカレッジ」に名称変更。(旧名称：駿台トラベル&ホテル専門学校) 1980 年開校以来、東京都認可の専門学校として、時代に即したホスピタリティ・マインドに溢れた観光サービスの業界人を輩出すべく実践的な教育を行い、その役割を果たし、観光サービス業界の第一線で活躍し、社会に貢献できる人材の育成を目的としている。 卒業要件については、各学科が定める所定の全授業科目を所定の年次に必要単位数修得した場合にその課程を修了した者として、卒業を認定している。 本校では卒業認定の要件を策定し、ホームページに公表している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.sundai-th.ac.jp/feature/document/certification-scheme.pdf

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	駿台観光&ホテルブライダルビジネスカレッジ
設置者名	学校法人 駿河台学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPにて公開している。(掲載: https://www.sundai-slec.ac.jp/pdf/freport.pdf)
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

・鉄道学科 鉄道コース

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		観光専門課程	鉄道学科	鉄道コース	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間／単位	1620 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	120 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1,740 単位時間／単位				
生徒総定員数 鉄道コース・訪日観光ド ライバーコース合計		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		26人	0人	1人	7人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業毎に学習の定着を図る為に、小テスト・課題・プレゼンテーション等を行い、定期試験の結果に加味している。また検定試験対策も実施している。担任教員は入学後および必要に応じて学生と面談・進路相談を行い、学習の指導および就職活動においてはキャリア支援担当と連携し企業説明会の設定など就職支援を行っている。

・鉄道学科 鉄道コース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 鉄道業・運輸業			
(就職指導内容) 就活面接指導、就職（模擬）試験、エントリーシート添削、企業説明会実施、 S P I 対策、ビジネスマナー指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定、旅行業務取扱管理者（国内・総合）、旅行地理検定、 アマデウスシステム検定、サービス介助士検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
2024 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	1 人	4.3%
(中途退学の主な理由) 病気のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任・教科担当教員・教務担当・キャリア支援室・生活カウンセラーが多角的に 学習・生活・進路・学費についてサポートや相談に応じている。クラス担任は、入学 後早期に個別面談を行い、学生の状況を把握すると共に、必要に応じて生活カウンセ ラーを紹介し、精神的に不安定な学生には保護者も交えた三者面談を行っている。		

・鉄道学科 訪日観光ドライバーコース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	鉄道学科 訪日観光ドライバーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間／単位	1275 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	525 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1,800 単位時間／単位				
生徒総定員数 鉄道コース・訪日観光 ドライバーコース合計		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		2人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 学修支援等	
（概要） 各授業毎に学習の定着を図る為に、小テスト・課題・プレゼンテーション等を行い、 定期試験の結果に加味している。また検定試験対策も実施している。担任教員は入学 後および必要に応じて学生と面談・進路相談を行い、学習の指導および就職活動にお いてはキャリア支援担当と連携し企業説明会の設定など就職支援を行っている。	

・鉄道学科 訪日観光ドライバーコース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） 本コースは 2024 年度にコースを新設したため現在卒業生はいない。 2025 年度の在籍は 1 年生のみ。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任・教科担当教員・教務担当・キャリア支援室・生活カウンセラーが多角的に 学習・生活・進路・学費についてサポートや相談に応じている。クラス担任は、入学 後早期に個別面談を行い、学生の状況を把握すると共に、必要に応じて生活カウンセ ラーを紹介し、精神的に不安定な学生には保護者も交えた三者面談を行っている。		

・ホテル学科 シティホテルコース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	ホテル学科 シティホテルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間／単位	1380 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	420 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1,800 単位時間／単位				
生徒総定員数 シティホテルコース・ テーマパーク・リゾー トコース合計		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		19人	0人	2人	15人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要） 各授業毎に学習の定着を図る為に、小テスト・課題・プレゼンテーション等を行い、 定期試験の結果に加味している。また検定試験対策も実施している。担任教員は入学 後および必要に応じて学生と面談・進路相談を行い、学習の指導および就職活動にお いてはキャリア支援担当と連携し企業説明会の設定など就職支援を行っている。	

・ホテル学科 シティホテルコース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ホテル業・販売業			
(就職指導内容) 就活面接指導、就職（模擬）試験、エントリーシート添削、企業説明会実施、 SPI対策、ビジネスマナー指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定、サービス接客検定、秘書技能検定、マナープロトコール検定、 レストランサービス技能検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任・教科担当講師・教務担当・キャリア支援室・生活カウンセラーが多角的に 学習・生活・進路・学費についてサポートや相談に応じている。クラス担任は、入学 後早期に個別面談を行い、学生の状況を把握すると共に、必要に応じて生活カウンセ ラーを紹介し、精神的に不安定な学生には保護者も交えた三者面談を行っている。		

・ホテル学科 テーマパーク・リゾートコース

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		観光専門課程	ホテル学科 テーマパーク・リゾートコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間／単位	1380 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	420 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1,800 単位時間／単位				
生徒総定員数 シティホテルコース テーマパーク・リゾー トコース合計		生徒実員	うち留学生 数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		26人	人	2人	16人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要） 各授業毎に学習の定着を図る為に、小テスト・課題・プレゼンテーション等を行い、 定期試験の結果に加味している。また検定試験対策も実施している。担任教員は入学 後および必要に応じて学生と面談・進路相談を行い、学習の指導および就職活動にお いてはキャリア支援担当と連携し企業説明会の設定など就職支援を行っている。	

・ホテル学科 テーマパーク・リゾートコース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15 人 (100%)	1 人 (7%)	13 人 (86%)	1 人 (7%)
(主な就職、業界等) ホテル業・不動産業			
(就職指導内容) 就活面接指導、就職（模擬）試験、エントリーシート添削、企業説明会実施、 S P I 対策、ビジネスマナー指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定、サービス接遇検定、秘書技能検定、マナープロトコール検定、 レストランサービス技能検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26 人	1 人	3.8%
(中途退学の主な理由) 成績不振・学校生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任・教科担当講師・教務担当・キャリア支援室・生活カウンセラーが多角的に 学習・生活・進路・学費についてサポートや相談に応じている。クラス担任は、入学 後早期に個別面談を行い、学生の状況を把握すると共に、必要に応じて生活カウンセ ラーを紹介し、精神的に不安定な学生には保護者も交えた三者面談を行っている。		

・ブライダル学科 トータルブライダルコース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	ブライダル学科 トータルブライダルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間／単位	1455 単位時間 /単位	単位時間 /単位	435 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,890 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		57人	0人	2人	15人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業毎に学習の定着を図る為に、小テスト・課題・プレゼンテーション等を行い、定期試験の結果に加味している。また検定試験対策も実施している。担任教員は入学後および必要に応じて学生と面談・進路相談を行い、学習の指導および就職活動においてはキャリア支援担当と連携し企業説明会の設定など就職支援を行っている。

・ブライダル学科 トータルブライダルコース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29 人 (100%)	0 人 (0%)	28 人 (97%)	1 人 (3%)
(主な就職、業界等) ブライダル業・レストラン業・販売業・エステ業			
(就職指導内容) 就活面接指導、就職（模擬）試験、エントリーシート添削、企業説明会実施、 S P I 対策、ビジネスマナー指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定、サービス介助士検定、サービス接遇検定、秘書技能検定、 マナープロトコール検定、レストランサービス技能検定、 ブライダルコーディネーター検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62 人	2 人	3.2%
(中途退学の主な理由) 学生生活不適應、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任・教科担当講師・教務担当・キャリア支援室・生活カウンセラーが多角的に 学習・生活・進路・学費についてサポートや相談に応じている。クラス担任は、入学 後早期に個別面談を行い、学生の状況を把握すると共に、必要に応じて生活カウンセ ラーを紹介し、精神的に不安定な学生には保護者も交えた三者面談を行っている。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
鉄道学科 鉄道コース	120,000 円	980,000 円	432,000 円	施設維持費、実習費、教材費等
鉄道学科 訪日観光ドライバーコース	120,000 円	786,000 円	342,000 円	施設維持費、実習費、教材費等
ホテル学科	120,000 円	980,000 円	485,000 円	施設維持費、実習費、教材費等
ブライダル学科	120,000 円	980,000 円	485,000 円	施設維持費、実習費、教材費等
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している。 https://www.sundai-th.ac.jp/feature/document/2024-self-assessment.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 学校関係者として、学生達が就職を希望する関係企業、卒業生、保護者などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について、評価を行っている。評価内容は理事会・学科長会議・教職員の運営会議などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 役職者	2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで	企業等委員
総合旅行会社 役職者	2024 年 5 月 1 日から 2026 年 4 月 30 日まで	企業等委員
総合旅行会社 役職者	2023 年 5 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで	企業等委員
総合旅行会社 役員（本校卒業生）	2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで	卒業生
高等学校 学校運営 役職者	2023 年 11 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日まで	学校関係
トラベル学科卒業生の保護者	2023 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している。 https://www.sundai-th.ac.jp/feature/document/2024-stakeholder-assessment.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.sundai-th.ac.jp/feature/index.htm>